

項目	申し入れの内容	回答
1	<p>福島第一原子力発電所における作業員の死亡事故について</p> <p>事故の調査結果を踏まえた再発防止対策について、水平展開を図り、二度とこのような事故が起きないように作業員の安全確保に万全を期すこと。</p> <p>現在行われている全ての作業について、死亡事故につながるリスクがないか検証を行い、安全対策の必要な見直しや強化を行うこと。</p> <p>死亡事故の発生により作業が中断されている間、賃金が支払われないなど作業員が不利益を被ることのないよう対応すること。</p> <p>安全を重視する考え方を大前提に、作業を安全に行うこと。</p>	<p>今回の事故の根本的な原因として、具体的なKY不足、共同作業者とのコミュニケーション不足、人命尊重・安全意識不足があったと考えております。これを受けて再発防止対策として、「タンク蓋開閉作業のルール化」「コミュニケーションの改善」「現地KYの実践」「職長教育の強化」「立ち入り禁止区域の設置」「挟まれ等の注意喚起表示」等を実施しており、二度と今回のような事故が発生しないように作業員の安全確保に万全を期して参ります。</p> <p>今回の事故の水平展開として、全協力企業において重機に関わる安全総点検を実施しており、全作業を中断し全作業員による事例検討会、重機総点検を実施し、安全対策の見直しや強化を図っております。事例検討会においては、バキューム車のみならず、自らの作業で使用する全ての重機に対して類似災害の発生リスクの抽出と、その安全対策について検討を実施しております。重機総点検においては、「挟まれ・巻き込まれ」以外の危険箇所も抽出し、安全区画設置や注意表示等の設備的な安全対策が十分かどうか、また、合図者、安全監視者の専任設置や現場でのワンポイントKYの実施など人的・管理的対策が十分かどうか、作業班毎に確認しております。</p> <p>今回の事故は8月8日に発生しており、事故発生後、運転関係を除くほとんどの協力企業はお盆休みに入っています。作業再開は8月17日以降の企業が多く、作業再開に合わせて上記の安全総点検を実施していることから、特に作業を中断して総点検を実施したものではありません。しかしながら、作業員さん一人一人がどのようにお感じになっているのかはアンケートなどを踏まえて十分注意深くお聞きして対応してまいります。</p> <p>安全最優先の考え方を大前提とし、福島第一原子力発電所で働く作業員の安全と健康を確保するため、元請事業者との情報共有、現場巡視の強化、緊急時の医療体制強化、被ばく低減等に継続的に取り組んで参ります。</p>

項目	申し入れの内容	回答
2	<p>労働環境改善の取組状況及び作業員の被ばく線量の状況について</p>	<p>今後発生する原子炉建屋内における高線量作業などについても、本日(9月2日)に説明したALARA会議や安全事前評価などのプロセスを使って、ALARAを進めてまいります。</p> <p>関係事業者と一体となって、熱中症対策をはじめとする長期にわたる廃炉作業に向けた適切な作業環境の確保を図るとともに、作業における基本的な安全確保対策を徹底すること。</p> <p>作業員の作業負荷軽減対策として、事故を起こした1～4号機周辺や汚染水などを取扱う作業エリアを除き、現在構内全体で約9割のエリアが全面マスク着用を不要とするエリアとなっています。今後も身体負荷の小さな防じんマスク(DS2)を選択するよう継続的にはたらきかけると共に、マスクエリアだけでなく、一般作業服で移動できるエリアの拡張や現場で装備やマスクの交換ができるように装備交換所の設置等を進めてまいります。また、作業員全員が面と向かって作業前TBM-KYや役割分担を明確にする打ち合わせ等が実施できるように大型休憩所等の環境整備についても継続的に推進してまいります。</p>
3	<p>その他(労働者に対するアンケート調査について)</p>	<p>労務費割増分については、今年度も実施するアンケート調査や企業へのヒアリング等により実態をさらに的確に把握し、関係事業者と一体となって取り組み、作業者に労務費割増分が確実に支払われるよう対応すること。また、進捗状況について、次回の労働安全衛生対策部会において報告すること。</p> <p>拝承</p>